



## 令和元年度 各事業所の主な事業報告

福山六方学園

- ・発達支援事業所すべての協力により毎週水曜日の通園を実現し、2月からは、2名の児童が地元向丘幼稚園に通園することが出来るようになったことで児童受け入れ体制の基盤が出来た。

あゆみ苑成人寮

- ・あゆみ苑成人寮では利用されている皆さんの高齢化と障がいの重度化にともない、介護度も高まり医療を必要とする方が急増しています。昨年度は病気で急に亡くなられた方が3名、入院をされた方も複数おられ、この傾向が顕著に表れた年でした。利用されている皆さんの変化に合わせ看護師の増員や理学療法士の採用、日課の調整など行いました。

サポートセンターひびきの家

- ・重度の利用者の健康生活維持のため、法人看護師と連携しながら定期検診や通院支援を行いました。行動面での課題に対応する技術等を習得するため、強度行動障害支援者養成研修等の外部研修にスタッフを派遣し、スキルアップに努めました。

サポートセンター友の家

- ・ホームを利用している人たちが地域で安心して暮らし続けるための配慮や、お互いの人間関係を円滑にする為の助言を行いました。また、生きがいづくりとしてコミュニティサロン・フレンズハウスではビニールハウス内で野菜作りを行い、2週に1回の野菜の食材提供を行うことができました。

さわらび

- ・利用者の人数も少しずつ増えてきた。さまざまな障がいのある方の利用があり、行動障がいのある方、介護度の高い身体障がいのある方等、常時、個別対応が必要なケースが多く、日々の丁寧な受け入れを心掛けた。

さくら

- ・就労継続支援B型事業では平均工賃月額23,266円を支給し、生活介護事業では平均工賃月額10,175円を支給した。前年度より、工賃を増額する事が出来た。

ONE-すてっぷ

- ・支援の内容や質の充実に努め、一人ひとりに向き合った支援を心掛けた。子ども達への直接支援と同時に、保護者の就労やレバイト支援を含めた家族支援にも丁寧に取り組んだ。

ふあんたす

- ・発達特性の理解や支援の目的等をスタッフ間で共有して取り組むよう努めた。運動療育の充実のため、新たに外部講師を招聘した。またスタッフの運動療育指導技術向上を目指し、研修に参加した。

ヘルパーステーションあしすと  
相談支援センター風ぐるま

- ・児童から成人への転換期に関係機関と連携し、地域生活を支える役割として担った。
- ・令和元年度は、計画相談におけるモニタリング標準回数の見直しに対して取り組みをおこなう中で、ご自宅や関係事業所への訪問を今までよりも密に行っていくことは良かったが、新型コロナウィルスの影響で訪問や会議の開催が難しい部分があった。

法人本部

- ・全国で大規模な災害が発生する中、国庫補助金を頂いて念願であった発電機を入所施設に設置する事が出来た。照明・エアコン・食事作り等が行える事は大きな安心に繋がった。

## 令和2年度 各事業所の主な事業計画

福山六方学園

- ・加齢児5名の成人施設への移行が4月から6月にかけて始まります。法人内外共に生活の場、活動の場への移行がスムーズに行えるよう各事業所と連携、調整を行う。

あゆみ苑成人寮

- ・これまで日中活動に比重を置きながら生活の充実を図っていましたが、介護度の高い方や医療ケアの必要な方が急増している現状や障がい特性の多様化に合わせ、今年度は健康や生活の支援がより充実するようシフトチェンジしていきます。

サポートセンターひびきの家

- ・高齢の方や障害の重い方の健康生活維持のため、医療機関や法人看護師と連携した支援を継続していきます。個々の障害特性や生活状況に応じた個別の対応も心がけていきます。進む高齢化や行動障害の方に対応するため、法人内外の研修会等に積極的にスタッフを派遣できる体制を整えます。

サポートセンター友の家

- ・今年度の計画では、フレンズハウスの活動をする人たちの生きがい作りを。ワンルームタイプ住宅の利点を生かし、居心地の良い生活の場を。地域社会に生きる一員として、積極的な町内会活動や近隣住民との交流を重点として挙げています。

サポートセンターかなで

- ・日中活動の利用が難しい方や、日中、ホームで過ごされる方への支援を行い、生活の充実に努めます。個々の障害特性や生活状況に応じた個別の対応を心掛けていきます。

さわらび

- ・特別支援学校高等部卒業後に利用される方3名のほか、4月から運用開始となるグループホームかなでを利用される方を数名迎え入れることになる。丁寧で細やかな対応をし、スムーズに移行できるように配慮する。

さくら

- ・障がいの重度化、高齢化、多様化に対応できる施設作りに取り組みます。また、さとりひろば工房まちの機能を引き継ぎ、安心して受けられるサービスを提供します。

ONE-すてっぷ

- ・児童発達支援すてっぷでは、3歳児までは週3回通園を保証する。また親子通園のニーズにも対応していく。放課後等デイサービスONE-すてっぷでは、個別支援計画を作成し、個々に丁寧に対応していくとともに、サービスの質の担保のため、自己評価や保護者アンケートを実施し、ソフト面・ハード面の改善に繋げていく。

ふあんたす

- ・学習面のフォローに対するニーズが高いため、支援教材を充実させ、取り組んでいく。保護者アンケートの結果『保護者同士の連携が支援されているか』という点が不十分だったため、保護者参加型の行事を企画する。

ヘルパーステーションあしすと  
相談支援センター風ぐるま

- ・在宅生活を継続されている方、必要なサービスが行き届いていない方に支援を整えていく。

法人本部

- ・新型コロナウィルスの状況の中で、みなさんの生活やサービス利用についてモニタリング等にて確認しながら計画相談・相談支援を行っていく。
- ・新型コロナウィルス感染症において、まずは法人内に持ち込みを徹底する。もし、法人内に感染が確認された場合には関係各所と連携を取り、利用者・職員・家族の命を守る行動をとり、速やかな鎮静を目指す。

## ありがとうございました(2020.4.1~2020.6.30)

\*お名前・グループ名のみ紹介し、お礼にかえさせていただきます。  
(敬称略・順不同)

\*ご家族・職員については記載していませんので、ご了承ください。

## ご寄贈・ボランティア訪問

ボランティア  
ご寄贈

- ・関係者2名・匿名1名

## 実習生・交流

## 実習生 保育士

## 今後の予定

## \*全体

8月11日 いのちの日

## \*福山六方学園

7月24日 デイキャンプ

8月 夏祭り

## \*あゆみ苑

8月 夏祭り

## \*友の家

7月 GH交流会 ふうりんの集い(そうめん流し)

8月 GH交流会 ふうりんの集い

9月 GH交流会 ふうりんの集い

10月 GH交流会

## 令和元年度 決 算 報 告

～令和元年度事業報告・R2年度事業計画～

## 法人单位 資金収支計算書

第一号第一様式

自 平成 31 年 4 月 1 日 至 令和 2 年 3 月 31 日

(単位:千円)

期 定 科 目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備 考
事業活動による収支				
児童福祉事業収入 就労支援事業収入 障害福祉サービス等事業収入 経常経費寄附金収入 受取利息配当金収入 その他収入	56,034 10,720 1,158,008 1,530 3 13,273	58,197 9,183 1,155,657 2,430 10 13,286	-2,163 1,537 2,351 -900 -7 -13	
事業活動収入計(1)	1,239,568	1,238,763	805	
人件費支出 事業費支出 事務費支出 就労支援事業支出 支払利息支出 その他の支出	906,543 79,588 124,157 10,286 1,520 9,543	907,069 81,725 121,991 10,112 1,519 10,354	-526 -2,137 2,166 174 1 -811	
事業活動支出計(2)	1,131,637	1,132,769	-1,132	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	107,931	105,993	1,938	
施設設備による収支				
施設整備等補助金収入 設備資金借入金収入	51,161 36,000	51,161 36,000	0 0	
施設整備等収入計(4)	87,161	87,161	0	
設備資金借入金元金償還支出 固定資産取得費用 固定資産除却・廃棄支出 ファイナンス・リース債務の返済支出	22,108 132,168 4,147 588	22,108 130,183 4,147 591	0 1,985 0 -3	
施設整備等支出計(5)	159,011	157,029	1,982	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-71,850	-69,868	-1,982	
その他の活動による収支				
積立資産取崩収入 その他の活動収入計(7)	2,035 2,035	2,035 2,035	0 0	
積立資産支出 その他の活動による支出	4,671 2,990	5,171 1,840	-500 1,150	
その他の活動支出計(8)	7,661	7,011	650	
予備費支出(10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	30,455	31,149	-694	
前期末支払資金残高(12)	412,373	412,373	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)	442,828	443,523	-694	

## 法人单位 事業活動計算書

第二号第一様式

自 平成 31 年 4 月 1 日 至 令和 2 年 3 月 31 日

(単位:千円)

期 定 科 目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増 減
児童福祉事業収益 就労支援事業収益 障害福祉サービス等事業収益 経常経費寄附金収益 その他の収益	58,197 9,183 1,155,657 2,430 1,227,759	50,028 9,131 1,123,757 2,430 1,190,093	8,169 52 31,900 1,315 37,667
サービス活動収益計(1)	890,485	880,458	10,027
人件費 事業費 事務費 就労支援事業費用 減価償却費 国庫補助金等特別積立金取崩額 その他の費用	82,964 121,991 10,112 63,089 -17,131 6,029 4,364	80,379 116,069 11,390 61,469 -17,153 4,000 1,665	2,585 5,923 -1,279 1,620 22 1,665
サービス活動費用計(2)	1,157,539	1,136,976	20,563
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	70,220	53,117	17,103
受取利息配当金収益 その他のサービス活動外収益	10 13,028	12 10,723	-2,306
サービス活動外収益計(4)	13,039	10,735	2,304
支払利息 その他のサービス活動外費用	1,519 4,325	1,651 4,011	-132 314
サービス活動外費用計(5)	5,844	5,662	181
サービス活動外減差額(6)=(4)-(5)	7,195	5,073	2,122
経常増減差額(7)=(3)+(6)	77,415	58,190	19,226
特 別 取 益	51,161	2,89	



誕生日会も行いました！

棟内でお花見会をしました。  
内部だけのお花見となりましたが、飾り付けに気合を入れて、楽しいお花見となりました！

あゆみ苑成人寮  
施設長 林 幸和



六月十五日には面会や帰省の制限を緩和し、ショートステイも条件付きではありますが再開しました。そして、自治会のメンバーを中心に行事の中でも一新「新しい生活様式」を取り入れ、楽しいことなども考えながら感染防止に努めてまいります。



サポートセンター友の家  
管理者 藤井 豊治

正直、六月になつて「ホッ！」としています。自粛中は様々な影響がありました。一般就労の人は路線バスの減便によりホームを出る時間の変更や帰宅時間の遅延。同法人の通所事業所では利用自粛に協力し、利用日数の減り。他法人の通所事業所では一週間ごとの利用。休日（自宅待機）が続くと「今日も休み」「何もすることがない」との声も聞こえています。各ホームでは生活リズムを崩さないように世話人と一日の計画を話し合い過ごしています。皆さんの頑張りで大きな崩れもなく五月十五日を迎えることができました。全てが自粛ムードの中、フレンズハウスの農園では野菜がすくすくと育ちました。毎日の水やりや草取り、ビニールハウス内の整理を欠かさず行つた成果です。各ホームへの食材として、五月は週三回提供することができました。提供の翌日には「あの豆うまかったで」「サラダがうまかったのう」と話がはずみます。様々な制約の中でも活動を通じて大きな歓びを得ることができます。

サポートセンター友の家  
管理者 藤井 豊治



当苑でも長期化する新型コロナウイルス感染症への対応として多くのことを自粛し、利用されている皆さんやご家族の方々には、「迷惑や心配をお掛けすることになりました。このような生活のなかでも皆さんに「笑顔を」と楽しいことを考えました。

## あゆみ苑成人寮

日中活動では、  
散歩をしたり、車で海を見  
に行ったりしました。



三角広場にはミニ菜園を作り、トマトの苗を植えました。水やりをしたりと毎日眺めてお世話をしてくれているので、今から収穫が楽しみです。食事中に感染が広がる可能性が高いので、つい立立てて飛沫を防ぐ取り組みをしています。

連休イベントを屋上で開催。子ども日のイベント、誕生日会などを毎月開催しています。

毎日、一日中同じ空間で生活していると小さなことでトラブルになることがあります。その為、トラブルの原因などを子ども達同士で話し合う場を設けて、次に繋がるように取り組みを行なっています。



また、ゴールデンウイーク前から五月末までは利用時の密を避けるために、たくさんの方々に利用自粛のご協力をいただきました。「ご家族には多大なご迷惑をお掛けしましたし、利用される方の中には生活のリズムが崩れてしまつた方もあり大変申し訳なく思っています。六月からは通常開所していますが、まだまだ一時期、マスク、消毒用アルコール、手袋等の衛生用品も全国的に不足し調達に大変苦慮する中、ご家族から手作りマスクやアルコール等のご寄付をいただき、大変ありがたく使わせていただきました。

六月からは通常開所していますが、まだまだ一時期、マスク、消毒用アルコール、手袋等の衛生用品も全国的に不足し調達に大変苦慮する中、ご家族から手作りマスクやアルコール等のご寄付をいただき、大変ありがたく使わせていただきました。

さわらびでは新型コロナウイルス感染防止の観点から、

①こまめな検温

②手洗い・手指消毒

③事業所内の換気・清掃・消毒・環境整備、

④送迎車両の消毒・換気、

⑤日課の変更、

⑥不要不急の外出を控える

## 新型コロナウイルスに関する 当法人の対応について

学校が休校となり同じ環境での生活のため、次第にストレスが溜まつてきているのを感じました。そこで外で遊ぶ時間出来るだけ増やすように心掛けました。しかし元気の良い子ども達には複数のスタッフが必要だったた

けました。そのため、元気の良い子ども達も達が満足出来るほどの時間を確保することが困難でした。

次に行つたのが屋上の開放です。屋上であれば少人数のスタッフでも把握を元気に走り回っています。屋上を元気に走り回っています。

## さわらび

### 福山六方学園

福山六方学園 施設長 澤田 康晴

さわらび 管理者 細羽 正樹

